



実りの秋 天日でおいしい米づくり（古畑の棚田）

さかわ *Sakawa* 議会だより

44
2010.11.1

9月定例会

contents 目次



一枚岩の大石橋（加茂）

21年度決算 総額3.9億円の黒字 2

災害復旧工事に2.3億円 6

役場の橋、耐震補強すべき（一般質問） 9

通学路に防犯灯設置せよ（あの質問のゆくえ） 16

万円のまちづくり

平成21年度

決算
認定

総額 3億9852万円黒字決算

決算総額は、歳入（収入）が前年度より約4億3861万円多い127億4951万円、歳出（支出）123億651万円、前年度より4億9106万円の増、歳入・歳出とも増となった。

町の主な事業を行う一般会計は、歳入で前年度より4億15万円多い、72億2145万円、歳出で4億8151万円多い70億1532万円となっている。

病院事業会計は、経常収支で70万円の黒字で前年度と比較すると大幅に減額となっている。

また、事業収支では借入金返済のため一般会計から1億7385万円が繰り入れられたことにより本年度1億7192万円（前年2270万円）の黒字決算となっている。

水道会計においては、単年度で357万円の黒字決算となっている、これは支払い利息の軽減と消費税繰延勘定の償却が、当期は399万円減少したため。

町債（借入金）の状況は、一般会計では3億4193万円借入れ、11億1968万円（元金と利息）を償還（返済）し、21年度末の未償還元金は、62億811万円となっている。

特別会計を含む町全体の未償還元金は8億7097万円となっている。

基金（町の貯金）の状況は、21年度中の積立額が4億7926万円、取崩し額は2億5299万円、21年度末現在高は35億8960万円となり、20年度より2億2627万円の増となっている。

町民ひとり当たりの
貯金は25万円 借金は62万円

会 計 名	歳 入	歳 出	翌年度繰越額	実質収支額
一般会計	72億2,145万	70億1,532万	4,448万	1 億6, 165万
国民健康保険特別会計	18億1,869万	17億9826万		2,043万
老人保健特別会計	3,075万	1891万	0	1,184万
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1億1,930万	1億195万	0	1,735万
学校給食特別会計	5,694万	5,694万	0	0
農業集落排水事業特別会計	2,309万	2,309万	0	0
特定環境保全公共下水道事業特別会計	637万	637万	0	0
介護保険特別会計	14億6,139万	14億5, 300万		839万
後期高齢者医療特別会計	1億9,169万	1億8,832万		337万
水道事業特別会計	1億4,288万	1億3,931	0	357万
病院事業特別会計	16億7,696万	15億0,504万	0	1億7,192万
合 計	127億4,951万	123億0,651万	4,448万	3億9,852万

※水道・病院事業特別会計は収益的収支を記載

どう活かされた
みんなのお金

歳出総額

123億0,651

市町村の財政状況を表す①財政力指数 ②経常収支比率 ③公債費比率でみると

①財政力指数 0.32%

一般的な行政の仕事を行うのに必要な費用を、どれだけ自前で賄っているかを示すもの。1以上なら、一般的に「財政力豊か」とされます。

②経常収支比率 88.7%

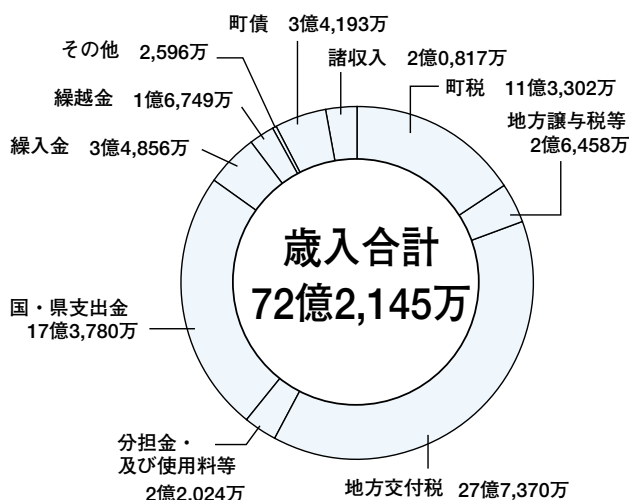
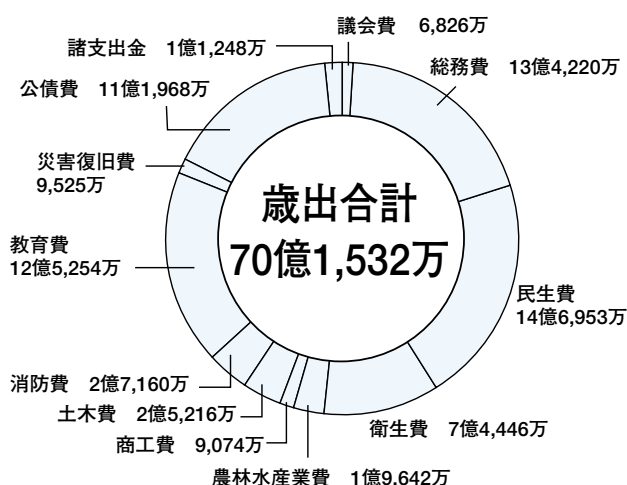
人件費などの経常経費が、使い道が限定されない一般財源にどれくらいの比率で占めるかによって財政の弾力性を示すもの。75%以下が適正とされています。

③公債費比率 15.7%

一般財源をどれだけ公債費で賄っているかを示すもの。いわゆる自治体の借金の割合で、10%を超えないことが望ましいとされています。

以上から判断すると佐川町の財政比率は、昨年よりも減ってはいるが引き続き、厳しい財政運営を強いられていると言えます。

一般会計



監査意見 (要旨)

西山 毅 委員
松浦 隆起 委員

平成21年度決算は、前年度と比較して歳入で40,153千円、歳出で40,515千円と大幅増額。主な要因は国の経済対策で地域活性化・生活対策臨時交付金等が21年度に繰り越されたことと中学校の建設事業の実施などがあげられる。

歳入では、景気の低迷で町税の落ち込みはあるが、地方交付税、国の経済対策としての国庫支出金の大幅な増加、町債(借金)は佐川中学校建設費の町の借金を国の交付金で補うことができ大幅な減額となっている。

歳出では、財政調整基金への積み立て、病院事業会計への繰り出し、プレミアム付商品券発行への補助、景観改善、イン

フラ整備等の事業が増加の要因だ。公債費は補助金免除繰り上げ償還がなくなり大幅な減額となっている。

また、未収金は一般会計、特別会計を含めて297,370千円で前年度より8,542千円減少、本年度設置された滞納整理課の徴収実績が上がっており、厳しい行財政運営を行っている中、自主財源の確保は言うまでもなく負担公平の原則からも滞納の防止と回収を図り、差し押さえ等、法的処置をとる必要がある。

今後も税収等は大幅な収入の期待は持てない。引き続き効率かつ効果的な行政運営、財政健全化に努め町民の福祉向上にさらに努力されたい。



21年度 決算質疑

決算の中身の総括 どうとらえる

中村議員 町長がこの1年間を通して事業を行った結果を踏まえて、この決算の中身を検証し、こういった点がよかったなどの総括をどうとらえているのか。

また、不用額が昨年の倍近くあるが、補正での組み直しや、中間的な予算の執行の見極めなどの方法は取れないか。

榎並谷町長 20年度から21年度にかけての財政面で言えば、国の経済対策を含め、地方自治体に追い風になっている状況にあると思う。ただ、それだけでいい方向にいくと

いうことではなく、町民から預かった貴重な税金を正當に使えるように、執行部としては、今後とも努力していきたい。

予算、決算というのは、そんなに差異があつてはならないのは事実だ。そういうった事態が判明した時には、議会にも諮って、是正できるところはしながら、結果的に予算と決算とが合致しているという評価をしていただくような運営はしていかなければならないと思つてい

医業収益の減、 なぜか

森議員 病院事業の医業収益が、前年から比べて500万円程度落ちている。ただ、費用が5000万円増加している。通常は、費用が増加すれば収入も増加していくものではないのか。

笹岡病院事務局長 21年度は、新たに内科の医師を採用し、その関係の人

件費に要したこと、もうひとつは、一般会計からの繰入金が約2000万円程度減額となつており、これらが影響し、収益的に500万円の差が出てきている。

就学援助の 申請状況、現在は

松本議員 就学援助費の申請時に、民生委員に相談することになつてい

る。以前、そのことが原因で申請数が少ないのではないかと質問した。答弁では、廃止も含め、検討すると言つていた。現在は、どうなつて



耐震建て替えを控え、更なる健全経営を

岩本教育次長 今年、申請は大幅に伸びており、

民生委員への相談が原因であるという感じはしていない。申請者の状況をつかむには、一番身近におられる民生委員の意見は大事な部分ではないかと認識している。

川井教育長 他の市町村の状況もしっかり調査した上で、教育委員会で協議し、意見もお伺いして、対応策を検討したい。

水道事業の監査 意見どうとらえる

坂本議員 水道事業について、監査委員の方から審査意見書の中で「平成19年度に約1億円の高金利の企業債を繰り上げ償還したことにより、年間約1千万円の支払利息の軽減と毎期600万円程度の消費税繰延勘定の償却へのめどが立ったことにより、赤字体質からの

脱却が見えてきたので、来期からの業績には期待できるものと思われる」という意見が出ています。これについて、担当課長はどうとらえているか。

渡辺産業建設課長 19年度、20年度については、赤字経営であつたが、手数料がいらずにできる高金利の繰り上げ償還を行った。こういった償還を行うのは、経営の鉄則であると考えている。

9月定例会で決まりました

平成22年度 9月補正予算

(単位：万円)

会 計 名		補正額	補正後の額
一 般 会 計		3億4,842	65億5,168
特別会計	国民健康保険	1,193	18億5,826
	後期高齢者医療	337	1億9,544
	住宅新築資金等貸付事業	1,735	2,559
	介護保険	1,157	15億5,526

9月定例会は、9月8日より13日までの会期で開かれました。
平成21年度決算の認定のほか、22年度補正予算をはじめ、条例改正など議案10件、報告6件、承認1件、諮問1件、同意案1件、議員発議による意見書3件を審議し、採決の結果、賛成全員および賛成多数で全件可決しました。

報告案件

財政健全化判断

比率等の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に基づき報告されたもので、一般会計等の実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため、数値がなく、実質公債費比率16・4%、将来負担比率0・1%で早期健全化基準を下回っている。

また、水道事業・病院事業・農業集落排水事業・特定環境保全公共下水道事業特別会計においても、いずれも資金不足はなく、健全であるとの報告を受けた。

専決処分の承認

平成22年度佐川町

老人保健特別会計

補正予算

前年度分の老人医療費の精算を行った結果、支払基金からの医療費の過払いがあったため、納期限を指定され、請求があったので、専決処分の報告を受け承認した。

(承認・全員)

工事請負契約締結

旧佐川中学校

校舎等解体工事

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

5,697万7200円

(契約の相手)

開洋・高橋特定建設

工事共同企業体

条例改正

職員に育児短時間勤務制度を導入

労働基準法および育児・介護休業法の改正に伴い、育児短時間勤務制度の導入が義務付けられ、関係条例を改正するもの。

(賛成・全員)

人 事

人権擁護委員

井上 和江氏

佐川町甲890番地

教育委員

山崎 徳彦氏

佐川町乙1869番地



姿を消した思い出の校舎（旧佐中）

9 月 補正予算 ピックアップ

住民力で力を合わせ
いざという時に備える

(斗賀野・自主防災訓練)



基金の積立(貯金)

8206万円

平成21年度決算において、剰余金が生じたことや、土地開発公社解散に伴う出資金の返還があったことに伴い、財政調整基金に積み立てを行うもの。

歴史まちづくり事業

800万円

上町を中心として行っている「歴史まちづくり事業」の施設拡充のための物件移転補償費が確定したため追加するもの。

小規模介護施設の

整備へ補助金

834万円

小規模の介護施設のスプリンクラー設置に対して補助を行うもの。



校庭側に傾いた塀

佐川小学校を修繕

650万円

佐川小学校南側の外塀の修繕を行うもの。

災害復旧工事に

2億3300万円

町道川ノ内線ほか、公共土木施設や農林水産業施設の災害復旧工事のための費用を追加するもの。



7月27・28日の豪雨で崩壊した川ノ内線

意見書

国にも申す

総理大臣をはじめ、
関係機関に意見書を提出

中山間地域の一次産業の抜本的転換と獣害対策を 求める意見書

(提出者 今橋寿子)

国民の主食であり、国土環境保全と国の安全保障とも不可分の米まで、大量に輸入されるようになり、農山村の高齢化とともにイノシシやシカなどの獣害に拍車がかかり悪循環が進みつつある。国の一次産業である農林政策の抜本的転換のため、米の生産費60キロ1.6万円、水田の多面的役割に対する所得補償60キロ1.8万円の価格保障を行うこと。また、WTO農業協定を改めて、食料自給率の向上を図り、消費者の理解を促し、世界最良の食品米の消費拡大を図ること。野生鳥獣による農作物被害対策の徹底を図ることを強く要望する。

(要旨)

(賛成・全員)

子宮頸がんの予防措置実施の推進を 求める意見書

(提出者 松浦隆起)

子宮頸がんの予防対策としては、予防ワクチンを接種し、予防検診によって感染の有無を定期的に検査し、前がん病変を早期に発見することが挙げられる。昨年、子宮頸がん予防ワクチンが承認・発売開始となったが、費用が高額なため、一部の自治体では公費助成を行っているが、居住地により接種機会に格差が生じることがないよう、国の取り組みが望まれる。

(要旨)

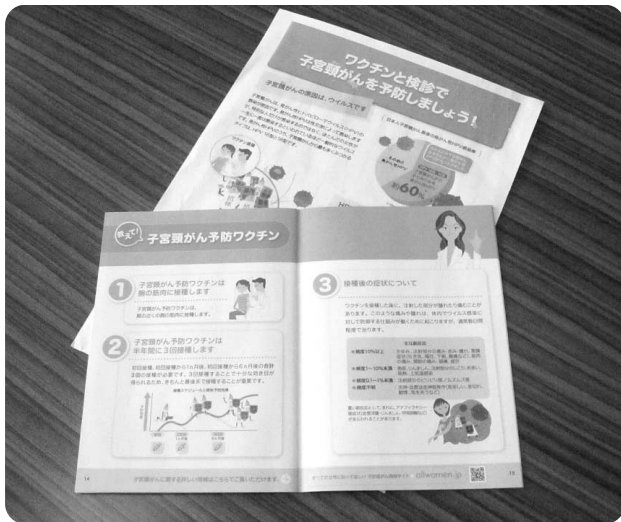
(賛成・全員)

予防検診についても同様だ。政府においては、子宮頸がんがワクチン接種と予防検診により発症を防ぐことが可能であることを十分に認識し、子宮頸がん予防ワクチン接種の実施と予防検診の実施、子宮頸がんおよびその予防に関する正しい知識の普及、相談体制等の整備を強く要望する。

鳥獣被害対策の推進と鳥獣被害防止総合対策交付金の復活、充実を 求める意見書

(提出者 坂本貞雄)

野生鳥獣による農林作物に対する被害が増大し、深刻な事態となっている。県内各地域よりも強い要望のある防護柵の設置等について、本県は当初約3114万円を計上し



がん発症を防ぐために、予防対策を

(要旨)

(賛成・全員)

ていたが、本年度の国の鳥獣害対策交付金が大きく削減され、内示額は941万円にとどまり、当初予算のわずか3割となっている。関係市町村や農家からは、交付金削減は地方の実情を無視したもので、農林作物への被害増大は必至であるとの懸念の声がある。国にあつては、削減された防護柵の設置等にかかわる交付金を直ちに復活するとともに、関係自治体からの要望にこたえられるよう予算の増額を図ることを強く要望する。

公費助成行うべき

町長 国の指針の後、判断したい

松浦 隆起 議員



7人が町政を問う

ここが聞きたい

厚生労働省の調査では、子宮頸がんや細菌性髄膜炎などの病気から、女性や子どもを守る予防ワクチンに対する公費助成に取り組む自治体が広がりを見せている。それに比べれば、本町は任意接種に対して、予算配分の優先順位が低い。公費助成を行うべきで、命を守る事業に取り組む姿勢を示すべきだ。

榎並谷町長 必要性は、十分認識しているが、こういった大事なことは国がきちっとした指針を示すべきだ。今までも、国の指針があって、初めて我々も取り組もうという答弁をさせていただいている。国が方向性を示した後に判断をしたい。

活字文書読み上げ装置

有効活用すべき

総務課長 重要文書の音声コード化検討

視覚障害者の方などに音声で情報を伝えることができる活字文書読み上げ装置は本町にも設置さ

れているが、有効に活用されているのか。また、読み取るために必要な音声コードが行政の印刷物に印字されているのか。有効に活用できる環境にすべきだ。

岡林総務課長 現在、利用事例はないが、この原因は、対象となる方が少ないこともあるが、音声コード普及の取り組みが不足していたことにある。装置を来庁者の目の止まる場所におき、町発行の重要な文書、町備え付けの文書の音声コード化を検討したい。



ご存じですか。読み上げ装置

学校教育

子ども議会、開催すべき

教育長 学校と協議、進める

小中学生の子どもたちが議員の立場として、佐川町を見て、問題点を探し、議場において町長に提案をして、質問をする。本来はなかなかできない経験であり、机の上だけでは決して学べないものを学ぶことができる。毎年、定期的に「子ども議会」を開催すべきだ。

川井教育長 学校の年間行事に位置づけし、計画的に取り組む方向で、今後、教育委員会としても、学校と協議を進めていきたい。



子どもたちの意見を町政に、また学習の場に

ニースにあった図書館建設すべき

町長 青山文庫を含め議論する時期

8月5日の高知新聞に、県内の図書館の資料費、蔵書数が全国最低とあり、本町は同規模の町村の中で蔵書数は中位で、資料費は全国最低とあった。町民の読書の権利が保障されているとはいえない。現状の認識と課題をどうとらえているか。

森 正彦 議員



川井教育長 貸し出し方式がアナログであり、検索システムも未整備だ。図書購入費も全国最低で、施設も図書館として建てられたものではない。これらが基本的な課題となっている。

榎並谷町長 新聞紙上で報道されたことは大変残念だ。我々の努力が足りなかったことを反省しなければならぬ。

新しい図書館は財政力の問題もあるが、青山文庫を含め議論しなければならぬ時期に来ている。

防災対策

役場にかかる橋の耐震補強すべき

産業建設課長 耐震調査行い対策

岡林総務課長 大災害の発生時は対策本部や避難所に相当数の人員が必要と考えられ、現在の形態を続けたい。その分、自主防災組織の方々に役割を果たしていただきたい。

渡辺産業建設課長 役場にかかる佐川橋の耐震対策はできていない。今後、耐震等の調査を行い、必要に応じた対策取りたい。

佐川の祭り

「酒蔵ロード劇場」に支援を

産業建設課長 佐川を代表するイベントへ発展させたい

酒蔵や佐川文庫庫舎に切り絵を映す「酒蔵ロード劇場」は大変美しく、品格もあり佐川にふさわしい祭りだ。しかし、これ以上に発展さすとなれば、マンパワーと資金が足りないと思われる。

この祭りを継続させるには、幅広い人たちの知恵と力を結集するため、実行委員会を組織するとともに、資金的な支援も必要だ。

渡辺産業建設課長 現在くろがねの会が主催している。たくさんさんの組織、町民にかかわっていたいており、佐川を代表するイベントとして一層発展させていくには、これを契機に実行委員会的なもの拡大を図らなければならぬ。佐川町は後援となっており、主催者側と十分協議し取り組みたい。

また、最低限の補助金は確保できるよう精一杯努力したい。



防災拠点にかかる重要な橋



片岡 勝一 議員

町立図書館

駐車場、拡張すべき

教育長 拡張の方向で検討したい

図書館の駐車場は5台分しかなく、身障者用スペースも確保されていない。

図書館の東側に隣接した町の土地のグートポール場がある。その中の2

本の立木のところまで、駐車場を拡張すれば、車が南、西から入ることができ、恒例の図書館まつりも安心して盛大に行うことができる。
また、出入り口を自動ドアにかえて、身障者にも優しい施設とするべきだ。

できれば、身障者用の駐車スペースも確保できる。自動ドアについては、現在は入館時に、介助の必要な方は入口のボタンを押し、職員に知らせるシステムで対応しており、特段の不自由である状況ではないが、自動ドアを整備すれば利便性の向上につながる。財政負担を伴うため、優先順位を考え、順次検討したい。



駐車場としての整備が待たれる

平野・大田川沈下橋

撤去すべき

産業建設課長 地元の合意あれば検討

平野、大田川を結ぶ沈下橋は地域の人々が利用していたが、平成9年、沈下橋上流300メートルに抜水橋が完成し、その後、撤去する約束と聞いている。
この橋は大雨が降ると大量のゴミ、あくたががかり、水をせき、流れが悪くなり、左岸の大田川、右岸の平野側に水があふれて田が冠水する。ときには田泥を洗い流す被害にあふ。

以前には死亡事故も起きており、第二、第三の事故が起きる前に撤去するべきだ。
渡辺産業建設課長 平成9年3月、平野、大田川を結ぶ町道橋としては最も長い橋が完成。その後、撤去する条件であったが、当時残してほしいとの要望もあり、そのままとなっている。地元の合意があれば、撤去へ向け前向きな方向で検討する。



水害の一つの要因となる沈下橋



松本 正人 議員

高吾北広域事業で、近く消防署の耐震化建て替え工事が計画されていると聞く。同時にゴミ焼却施設、し尿処理施設も老朽化が進んでいる。また、特別養護老人ホームは入所希望者が多くあり、こ

高吾北広域事業

近中長期的計画は

総務課長 まだ、作成されていない

ういった状況の解消も急がれている。

本町の財政にも影響する問題だが、今後の広域事業の近中長期的事業計画はどうなっているか。

岡林総務課長 消防署の耐震化は平成24年度に行う計画。

ゴミ焼却場は、県のゴミ処理計画に含まれておらず、独自に延命化を図らざるをえない。

し尿処理場は、築46年を過ぎており更新の声はあるが、白紙の状態だ。

特別養護老人ホームは、春日荘で現在約150人の入所希望者がいるが、本広域の所属する中央ブロックでは、高知市のみ増設の見通しとなっており、春日荘の増設の見通しは立っていない。

本広域の近中長期的事業計画は、まだ作成されていない。

国道494号線バイパス

大型車利用へ対策とるべき

産業建設課長 誘導標識を要望する

現在、国道33号線から斗賀野へ抜ける大型車両はJR佐川駅前から猿丸峠を通るルートしかない。このルートは道路両脇に家が立ち並び、近隣の住民は危険と騒音等による不快な思いも含め、我慢を強いられていると聞いている。

国道494号線佐川工区の一部が本年度中完成予定だ。大型車両はなるだけ、この新ルートを利用するよう対策がとれないか。



供用開始に向けて工事は急ピッチ

渡辺産業建設課長 川内ヶ谷下から岡崎に抜ける国道494号線のバイパス工事が本年度末に供用開始を目指して進められている。県に確認したところ、国道33号線の川内ヶ谷側に3カ所、斗賀野丸山、尾川高平あたりにそれぞれ案内標識を設置することになっていると聞いている。これから国交省に誘導標識面で精一杯要望していきたい。

高年齢者の移動手段、「足」の確保が、長年の懸案となっている。平成19年に仁淀川町で「ミニ二テイバス」事業が開始されている。マイクロバス3台で社会福祉協議会に運行をお願いして、週1便程度でほぼ全町内を網羅できている。本町でも導入できないか。

高齢者施策

ミニ二テイバス導入すべき

健康福祉課長 適切な方法、検討したい

下川健康福祉課長 現在運行しているバスの事業所、タクシーの事業所への影響等に十分配慮して計画を進める必要がある。高齢者の方、地域、関係機関や有識者の方の意見、要望を聞きながら、適切な方法を検討したい。

その他の質問

- 高北病院耐震化改修工事の今後の手順は。
- ゴミ収集所の鳥獣対策とるべき。
- 医療費無料化を中学卒業まで拡大すべき。



坂本 貞雄 議員

地域経済活性化

住宅リフォームに助成を

産業建設課長 十二分な検討を要する

持ち家の6割の人がリフォームを考えていると言われている。秋田県は「住宅リフォーム緊急支援事業」を創設し、高知県議会でも支援事業は地域経済活性化のために有効であるとの答弁もある。本町でも助成制度を検討してはどうか。



経済活性化につながるリフォーム

渡辺産業建設課長 秋田県の事例は、経済の活性化のみならず住宅の耐久性、耐震性の向上、省エネ、省CO₂等画期的事業と考える。ただ、今の財政状況では、町単独で他に先駆けて進んでいくには、十二分に検討を要する。県には制度化を要望したい。

有害鳥獣対策

対策の現状は

産業建設課長 駆除は猟友会一本頼み

最近、野生鳥獣被害が激増し、農家が悲鳴の声を上げており、何とかしてもらいたいという声が数多く届けられている。町の対策の現状と今後の方向を示せ。
また、現在の「佐川町有害鳥獣捕獲許可事務取扱要領」は新しい法律に基づき見直すべきだ。
渡辺産業建設課長 有害鳥獣対策は、「佐川町有害鳥獣対策協議会」で議論し実施しているが、駆除については猟友会一本頼みの状況であり、会員の高齢化等で駆除数は横ばいとなっている。事務取扱要領、有害鳥獣対策の見直しに向け、取り組んでいかなければならない時期に来ていると思う。

後期高齢者医療

公的医療は国の責任

町長 誰が負担するのか、議論がある



防護対策に一苦労

後期高齢者医療制度の22年度の新保険料はいくらか。また現在支払っている人の個々の保険料を聞き取りしてみると、値上げになっているが、どうしてか。
このような公的医療は、国の責任で保障する制度とすべきだ。

藤本町民課長 本町の新保険料の平均は、4万4,116円で、昨年度より1,387円のマイナスとなっている。個々については所得、世帯構成等あり、お答えできない。
榎並谷町長 公的医療は、国の責任でというのが理想だが、誰が負担をしていくのかという問題は議論があるところだ。



今橋 寿子 議員

町長は、この約5年間で形骸化した文教のまちの再生にさまざまな角度から尽力してきた。この5年間で取り組んだ成果として、みずから自慢できることは何か。

町政運営

5年間の成果は

町長 中学校建設と上町地区整備



視察も訪れはじめた上町地区

榎並谷町長 決して自慢できるというふうには考えていない。文教の町の名声もまだ残っており、文化遺産も他町村と比べ若干残っており、誇りに思っている。それを守り生かしていきながら、その中で育った子どもたちが次の世代を担って行く、そんな町を目指し、一緒に

にやってきていただいていると自負している。5年間の成果としては、中学校建設と文化遺産を活用した地域の活性化として上町地区のインフラ整備をしていることだ。上町地区は、この3年間で完成させ、魂を入れ隣の町村とも連携を図り観光客の集客拠点として生かしていきたい。

短期的な課題として、最優先的に取り組まなければならない学力、体力、いじめ、不登校の改善、学校教育の充実について改善策と方向性を示せ。

川井教育長 子どもたちのやる気を育てるために教員の授業の改善、取り組み対応、各学校のそれぞれの課題に向けた解決策として、来年度は何を

教育長 教育振興基本計画で対応

改善策と方向性を示せ

学校教育



かけがえのない1日となった体験学習

したいか投げかけている。県や国の補助制度も活用して施策を打ち出していく。

そして必要なことは、町としてどういったビジョンで教育行政に当たると、示す必要があると、痛切に感じている。

また、本当の意味で、いったいどういう文教の町を描くのが、非常に重要だと思っており、それに向けて施策を打っていく必要がある。その意味で、教育振興基本計画を立て、本町の教育の目指すものをしっかり打ち立てて、個別の施策を毎年度打ち出していく。

水害対策どこまで進んでいる

町長 県議会にも陳情



今は静かな柳瀬川だが……

中村 卓司
議員



黒岩地区の水害対策は
どこまで協議が進んでい
るか。

榎並谷町長 県議会の企
画建設委員会にも陳情し
ている。息の長い運動に
なると思うが、途切れる
ことなく関係者と一緒
になり、要望活動を行っ
ていきたい。

道の駅

委員会立ち上げ、どこまで進んだ

産業建設課長 本年度中に開きたい

議会の中で町長は道の
駅の取り組みについて、
責任を持って委員会を立
ち上げると発言があつた
が、どこまで進んだか。

渡辺産業建設課長 高知
工科大学、農協、商工会、
県関係機関が集まり打ち
合わせをした。開設には
ビジネスプランが必要と
なり、本年度中に検討会
を開き、来年度そういつ
た専門の方々を交えて、
プラン作りに入りたい。

佐川高校

野球部の新設を

教育長 高校自体の意欲がポイント

佐川の町が元気にな
り、子どもたちが元気に
なり、住民も元気になる
ために、佐川高校に野球
部を新設してもらいた
い。

川井教育長 佐川高校自
体が、野球部設置の強い
意欲を持っているかどう
かがポイントである。高
校が強い意欲を持ち、町
民の要望があれば、教育
委員会も町長とともに要
望活動を行う。

ソニア存続問題

公的資金追加して継続するのか

町長 一般会計から補填はしない

町長は、ソニアは公的
資金を追加しても継続
すると言っていたが、今
でもその考えか。やめる
という大なたを振るうべ
きだ。

また、公的資金とは何
の金をもって公的資金と
いうのか。

榎並谷町長 地域の基幹
産業として位置づけてい
るので、公金を使ってい
ても存続したい。公金とは、
ふるさと基金を取り崩し
てという話からスタート
している。一般会計から
補填をする考えはない。

その他の質問

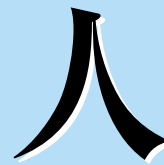
○ 給食費未納問題の現
状は。

○ 龍馬脱藩の道マラソ
ン、企画できないか。

○ 高北病院の耐震事業
の進捗状況は。

○ 佐川町のまちづくり、
全体像は。

わがまち



わがまち「人」では、この佐川のまちで元気に活躍されている方にスポットをあて紹介します。今回は、カラオケやチンドンでよく知られている、「片岡バラエティークラブ」の片岡静子さんにお話を伺いました。



片岡 静子 さん

片岡バラエティークラブ

― クラブはいつごろから始めたのですか。

昭和63年ですから、もう23年になります。我ながらよく続いたものと感じています。

― 始めたきっかけは何ですか。

嫁いでいた娘を亡くし落ち込んでいたとき、知り合いが歌でも歌って楽しくやらんかよ、と言ってくれました。

主人も人を集めるのが好きでしたので、自宅でカラオケクラブを始めました。

― ご自身は歌は好きでしたか。

聞くのは好きでしたが歌うのは全くだめでした。

でも、仲間と歌っていると楽しく、今では人の前でも歌えるようになりました。

― メンバーは何人ですか。

現在45人です。12人で始めましたが、チンドンやバンドが加わって大勢となっています。

― チンドンのお話でしたが、どのようなことから始めましたか。

毎年発表会を開いていますが、歌だけでは単調になるので、寸劇を入れた。今ではこれが好評です。

― 衣装も決まっていますか、どうしていますか。

全部自分たちで作ります。私は洋裁をしていて、そっちはプロですから歌よりも得意ですよ。



楽しさと笑いをお届け

― 出演依頼が多くて大変忙しいと聞いていますか。

あちこち大小のイベントに駆け出されています。生バンドで歌謡ショー、のど自慢もできますから便利でしょうかねエ。

― 今までやってこれたの苦労や自慢できることは。

苦労は何もありません。メンバー皆でワイワイやっていますから。

自慢は、23年間続いたこと。発表会も一回も休んでいません。

カラオケからチンドン、バンドへと発展したこともよかったです。もう一つ、よいメンバーが自慢ですね。

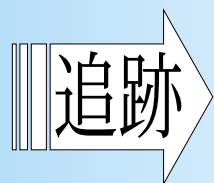
― 最後にこれからの夢は。

夢。そうですね、やっぱり皆で楽しく生涯現役で続けていきたいですね。そして楽しさと笑いをお届けしたいですね。

ありがとうございました。

「楽しさと笑い」、「生涯現役」シニア世代のお手本のような片岡さんでした。

あなたの周りに、人知れず「佐川のまち」の元気のために活躍されている「人」をぜひ、ご紹介下さい。ご連絡は議会事務局まで。



あれはどうなったが？



生徒の安全確保は行政の責任

通学路に防犯灯を設置せよ

部活動で帰りが遅くなる生徒たちのために、暗く危険な通学路には、防犯灯を設置すべきだ。幹線道路や通学路の防犯灯は、部落が維持管理するのではなく、町が危険区域に指定し管理するルール作りが必要だ。

(平成18年3月定例会 松浦議員)

(平成21年6月定例会 氏原議員)

(平成22年3月定例会 森議員)

6月定例会 松本議員)

総務課長 答 弁

通学路の危険、解消されず

防犯灯はあくまでも、部落の申請により設置し、管理するとの考え方を变えておらず、暗く危険な通学路は、いまだそのままだ。町民の命を守る視点に立ち、視野の広い行政運営が求められる。

どう
なった

設置は部落の申請による

設置補助規定に沿って設置しており、各地区の部落からの申請になる。(3月定例会) 条例を変えて町内全域を全部みるとなると膨大な費用がかかる。現段階では制度を変えて町でみるということには至らない。

(6月定例会 町長)

あの質問のゆくえ

No.15

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は12月7日午前9時開会
予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面に心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員長	岡村 純正
副委員長	坂本 貞雄
委員	松浦 隆起
委員	片岡 勝一
委員	森 正彦

最近、ツイッターという言葉をよく耳にする。つぶやきのような内容の言葉を140字以内でインターネットに掲載するものだろう。短い言葉でわかりやすく共感をよぶ。情報が素早く伝わり特定の商品が全国で売り切れるという現象も起きている。

同じように、議会広報も限られた紙面の中で、短い文章で正確にわかりやすく町政を伝えるなければならない。

元々の質問は議員が情報や資料を集め、真意を伝えるために多くの弁を用いて執行部に迫る。執行部は良い事でも財政面やバランス関係等で明快な答弁となりにくい。

これを編集するのは大変な作業となる。質問者の主旨と答弁の内容、これを紙面に凝縮するのが難しく毎回苦労する。そして心配なのは町民の皆様にもうまく伝わっているかどうかだ。

森

編集 後記